

## 『宝、見つけた』（マタイの福音書 13章 44-46節）2022.9.4.

<はじめに> 13章を読み進めるとき、この44-46節は分かりにくい箇所も少なく、素直に読めるたとえでしょう。ここにある二つの短いたとえには、値打ちのあるものを見つけた人が出てきます。

### I 二つのたとえの比較(44-46)

#### ① 共通することば

「天の御国は」「…のようなものです」

「見つけた(商)人は」「行って」「持っている(た)ものすべてを売り払い」「…を買います」

#### ② 似ている表現

「畑に隠された宝・その宝を/良い真珠・高価な真珠を」

「見つけた人/探している商人」

#### ③ 独特な表現

「畑に隠された」「そのまま隠しておきます」「そして喜びのあまり」「その畑を買います」

「商人」「一つ」

天の御国はそれぞれ何にたとえていますか？それは同じですか？違いはありませんか？

### II 畑に隠された宝のたとえ(44)

#### ① 畑に隠された宝

古くから大切なものを土の中に隠すことは常道です(マタイ 25:18)が、隠した者が不明になったり、忘れてもあり得ます。その宝の発見者はそれが埋まっている土地を買うことで、確実に宝も自分のものにできます。だから「そのまま隠しておき…その畑を買」うのです。

#### ② 喜びのあまり

畑は決して安い買い物ではありません。全財産をはたく決意と姿がここにも見られます。畑に宝を発見した彼は、さらにまさる喜びをもってその畑を買います。自分が払う代価は決して小さくはありませんが、それを越えてあまりある値打ちがその宝にあるからです。

#### ③ 天の御国は隠された宝

天の御国も人の目からは隠されて見えません(11)が、確かに存在します。イエスはそれをたとえで示そうとしています。天の御国は、その存在と価値に気付く者に見出され、自分のものにしたいと強く願い、その代価を支払う者に獲得されます。代価とは何でしょう。

### III 真珠を探す商人のたとえ(45-46)

#### ① 天の御国は探す商人

先のたとえでは天の御国は見出される対象ですが、こちらは探し見つける側です。44節では不意に宝を見つけたのに対して、45-46節では目に適う逸品を探し続けて、ようやく一つを見つけます。このことから天の御国についてわかることは何でしょう。

#### ② 良い高価な真珠

古来から真珠は貴金属・宝石と並ぶ宝物です。この商人はその中でもより優れた逸品を探しています。天の御国が価値高いと認め、探しているものとは何でしょうか。イザヤ 43:4を読んでください。また「一つ見つけた」から思い出されるイエスのたとえ話がありますか。

#### ③ すべてを売り払い、買います

目に適う逸品を見つけた商人は、すべてを賭してそれを買います。その商人の姿とイエスに相通じるころはありませんか。マルコ 10:45を読んでください。これらから、天の御国についてわかることは何でしょうか。

<おわりに> 天の御国と私たちとの関わりがこの二つのたとえに描かれていました。私たちは天の御国を見出し、決意をもって自分のものとなりました。それはまた、イエス・キリストが私たちを見出し、大きな代価を払って贖って(買い取って)くださったことと表裏一体なのです。(H.M.)